

(一社)奈良県サッカー協会 第4種委員会 内規

1 チーム及び個人の大会(公式戦)出場への資格について

- ① 大会に出場するチームは、活動拠点を1ヶ所とし、ブロック間を越えて活動する場合は、各ブロックの承諾を得、委員会に承認されなければならない。
- ② 大会に出場するチームは、(一社)奈良県サッカー協会第4種委員会(以下、委員会)に届け出(大会参加申込書の提出)を行い、当該ブロック(活動の拠点がある)の承諾を受け、委員会に承認されなければならない。
- ③ 合併吸収等により、大会に出場するチームは、委員会に届け出を行い、各ブロックの承諾を受け、委員会で承認されなければならない。
- ④ 年度途中でチームの強化を目的とした選手の引き抜きや連合と認められた場合の移籍選手は大会出場を認めることはできない。
- ⑤ 奈良県内外を問わず同一大会の予選会等において、他チームにてエントリーされていた選手は移籍等での同一大会(本大会・予選を含む)へのエントリーはできない。

2 ブロックの活動について

- ① (一社)奈良県サッカー協会が主催及び主管する県大会のブロック予選出場選手は、(公財)日本サッカー協会に登録していなければならない。
- ② (一社)奈良県サッカー協会第4種の各ブロック大会の要項については、各ブロックに一任する。
- ③ ブロック間を越えて活動するチームは、活動の拠点を明確にし、その拠点のあるブロックで承認を得、県大会ブロック予選に出場することができる。

3 大会運営等について

A 試合方式

- ① トーナメント方式及びリーグ戦方式とする。
- ② 試合時間は、20分ハーフとし5分間の休憩をはさむ。
- ③ 正規の時間が過ぎても勝敗が決しない場合は、PK方式で次の回戦に進む権利を決定する。
- ④ 準決勝戦・決勝戦については、5分ハーフの延長戦をする。それでも勝敗が決しない場合はPK方式とする。(3位決定戦の必要な場合も同様とする。)
- ⑤ 試合球は、4号ボールを使用する。

B 参加資格

- ① ベンチ入り人数の制限については、大会参加申込書の16名までの選手と監督、コーチ、主務等の指導者3名までとする。したがって試合中のベンチ人数は、19名(選手16名、指導者3名まで)とする。
- ② メンバーチェック時(試合開始30分前もしくは、前の試合のハーフタイム終了後)には大会エントリー選手の登録選手一覧(写真を貼り付けたもの)を持参しメンバーチェックを受ける。
- ③ 登録選手一覧により確認できない場合は出場ができないが、確認でき次第出場を随時認める。
- ④ 遅れてくる選手は、メンバーチェックが済み次第、試合に出場できる。
- ⑤ 試合開始30分前までに、参加申込書兼メンバー表のコピーを2部、本部に提出する。その際、スターティングメンバーの背番号(1~99)に○印を付ける。
- ⑥ 試合開始時に選手が所定の人数いないと失格とし、相手側チームの勝ちとする。
- ⑦ 選手交代は、エントリー内で自由な交代ができる。
- ⑧ 登録選手に不都合がおき、試合に出場出来ない場合は、出場資格を有する日本協会登録選手であれば、大会の出場を認める。但し、4名迄とする。

C 服装

- ① ユニフォーム（シャツ・パンツ・ストッキング）は、選手固有の背番号（1～99）のついた統一されたものであること。
- ② ユニフォームの胸番号は付けなくともよい。
- ③ ユニフォームは常に色違いを2種以上用意し、1種は白色であることが望ましい。
- ④ ゴールキーパーのユニフォームは、フィールドプレーヤーと異なる色にすること。
- ⑤ ゴールキーパーは登録しているパンツ・ストッキングの他、自チームのフィールドプレーヤーで登録している同色のパンツ・ストッキングの着用を認める。
- ⑥ フィールドプレーヤーがゴールキーパーをする場合、選手固有の背番号のゴールキーパーシャツ（登録しているシャツ）を着用しなければならない。但し、パンツ・ストッキングはフィールドプレーヤー登録で可とする。
- ⑦ ゴールキーパー登録選手がケガ及び病気等で出場できない場合、ゴールキーパーをするフィールドプレーヤーは出場できないゴールキーパー登録選手のユニフォーム着用を認める。
- ⑧ ユニフォームに広告を掲示するチームはユニフォーム広告掲示申請書（（公財）日本サッカー協会承認済）及び申請時の添付書類の写しを年度当初に提出すること。
- ⑨ 対戦チームとユニフォームが同色の場合は、両チーム協議、及びトスで決定する。
- ⑩ アンダースパッツはパンツとアングルガードはストッキングと同色であること。
- ⑪ **アンダーシャツ・タイツは、色がチームで統一されていれば着用できる。**
- ⑫ PK戦時に、フィールドプレーヤーがゴールキーパーを行う場合、そのユニフォームでのプレーが可能である。

D 棄権

- ① 本大会申し込み後は、原則として棄権することはできない。
- ② 万一棄権しなければならない場合は、第4種委員長にその申しを伝え、大会日より5日前までに書面にて第4種委員会まで報告しなければならない。その後の処分については、第4種委員会で検討する。
- ③ 棄権した場合でも、審判割り当て等の審判員を派遣し、大会運営に協力しなければならない。

E 審判

- ① 第4種サッカーの指導、普及活動の中で審判レベルの強化を図るべく、県審判委員会、第4種審判委員会及び大会参加チーム所属の登録審判員によつての相互審判制とする。（主審・副審・予備審）
- ② 大会においては、審判員の判定に従い、違反したチームは、委員会で処分を検討する。
- ③ 審判を勤める時は、必ず審判服及びパンツ、ストッキングを着用しなければならない。

F 反則退場等の処分

- ① 本大会期間中、参加チームの選手の退場並びに指導者（代表、監督、コーチ、主務等）が退席させられた場合は、委員会で処分（最低、1試合の出場停止）を課す。但し、**選手の処分について次大会に持ち越す場合は規律フェアプレー委員会で決定する。**

G その他

- ① 大会会場において、鳴り物（ラッパ、メガホン、太鼓等）の使用は観客席のみとする。
- ② グラウンド内でのタバコは禁止する。
- ③ 試合中のベンチ外でのサイドコーチは禁止する。
大会当日のベンチの位置は、本部席がゴールの後方にある場合は、手前側が組み合わせ表のチームNo.の小さい方のチームとする。また、本部席がコート中央付近にある場合は、本部席から見て、左側が組み合わせ表のチームNo.の小さい方のチームとする。また、試合前のコート内でのアップはベンチサイドで行うこと。

- ④ 原則として、各大会の大会規定及び参加資格等を優先する。
- ⑤ 2チーム以上大会に参加する場合のチーム名標記は、1番目のチームを登録名で、(A標記はしない) 2番目以下は登録名の後にB・C…という標記をする。
- ⑥ 抽選会への参加は、スタッフ2名迄とする。
- ⑦ 原則として、修学旅行が理由での大会期間中のエントリー変更は認める。但し、抽選会時迄に委員会に申請しなければならない。
- ⑧ 各種問題が生じた場合は、委員会にて検討し、しかるべき措置をとる。
- ⑨ 各種大会については、この内規に沿って開催する以外は、それぞれの大会要項による。

4 その他

- ① 第4種の各ブロックで諸問題が生じた場合は、各ブロックで協議し、そのブロックの登録チーム数の3分の2以上の賛成を得て議決し、その内容を委員長に報告することとする。各ブロックの議決や委員長への報告なく諸活動をした場合、除名を含む処分を検討する。
- ② 登録チームは、県及び当該ブロックの運営（トレセン及び各ブロックが実施する事業を含む）に積極的に協力しなければならない。
- ③ この内規施行に必要な細則は、第4種委員会の議決を経て、これを定める。

5 附則

- ① (一社)奈良県サッカー協会第4種の事業年度は、毎年4月1日において始まり翌年3月31日に終わる。
- ② この内規を変更しようとするときは、委員会に出席した委員の3分の2以上の議決を経なければならない。

- ・ この内規は、2005年4月1日から施行する。
- ・ この内規は、2008年12月8日から施行する。
- ・ この内規は、2010年10月4日から施行する。
- ・ この内規は、2012年3月4日から施行する。
- ・ この内規は、2013年9月23日から施行する。
- ・ この内規は、2015年4月19日から施行する。
- ・ この内規は、2008年4月1日から施行する。
- ・ この内規は、2010年2月7日から施行する。
- ・ この内規は、2011年1月24日から施行する。
- ・ この内規は、2013年3月14日から施行する。
- ・ この内規は、2015年1月25日から施行する。
- ・ この内規は、2019年3月18日から施行する。
- ・ **この内規は、2020年3月15日から施行する。**